

令和3年度 第2回大阪府立泉北高等学校 学校運営協議会 議事録

○ 日時：令和3年 11月26日(金)14:30~16:15

○ 場所：本校会議室

○ 出席者

<運営協議会委員>

菊田 久雄（大阪府立大学 工学域長）、中谷 浩治（堺市立若松台中学校校長）

中村 俊一（立志館ゼミナール館長）、池内 博一（追手門学院大学 准教授）

樋川 友子（泉北高校 PTA 会長）、榎 さゆり（泉北高校後援会 会長）【配布資料】

<配布資料>

資料1 第2回 学校運営協議会配席図

資料2 令和3年度 学校経営計画及び学校評価

資料3 進路指導部 学校運営協議会資料

資料4 令和3年度 SSH 事業報告と今後の予定

番号なし 第1回 学校運営協議会議事録1. 校長挨拶

1. 校長挨拶

本校の現状について、新型コロナウイルス感染症による臨時休業は今年度1回のみ、通常に戻りつつある。最近では、文化祭（無観客）、修学旅行、SSH 中間発表会等を実施した。

2. 授業見学関する意見交換（社会、国語）

・協議会委員の方々のご意見、ご感想

- 生徒たちが非常に熱心に授業を受けていた。授業が進路（入試）に必要かどうかで意欲に差はあるか知りたい。（回答）意欲に差はあるが、各教科の課題として取り組んでいる。
- 授業中にペアワークなどで相談できる雰囲気ができている。プロジェクターなど設備が充実している。
- 若い先生が工夫して授業している。反面、機械に頼りすぎないように気を付ける必要がある。
- 双方向の授業ができている。教室内が密になっているように感じた。
- 一人1台端末があるのは非常によい。大学から使用するのでは遅いと思う。授業で活用できているのはよいと感じた。
- コロナの影響で授業参観がなくなって、授業を見る機会が減ったのはさみしい。今日は見学できてよかった。タブレット端末の活用も多く、先生方の努力が見られた。
- タブレットは全員に配布しているのか？（回答）1・2年生全員に配布済み（3年生は今後臨時休業等があれば配布予定）

3. 協議事項

① 令和2年度 学校経営計画及び学校評価の進捗状況について

校長より進捗状況説明のあと、進路指導主事田口より資料3（進路状況）について、総合科学科長榎阪より資料4（SSH 事業）について説明した。

以下、委員からの意見

- 生徒の多くは指定校推薦を目標にしているのか？（回答）人数は例年並み。（資料のとおり）一般入試でチャレンジするよう指導している。
- 大阪府立大学（理系）に入学する生徒が過去にはいたが、最近は少ないように感じる。対策はしているのか。泉北高校の強みを生かした指導をしていただきたい。（回答）特別に国公立対策をしているということではない。（国公立、私立とも）一般入試を目標に指導している。また、希望する生徒には推薦入試等で強みを生かせるよう指導している。
- 学校経営計画はいつもきめ細かく設定されていてよい。しかしながら生徒がとても忙しいようにも感じる。（大学受験に関して一般入試の時期を指して）最後までがんばることは大切。
- 大学受験前に休む生徒は多いか。（回答）受験科目しか頑張れない生徒もいる。「高校生として」どう行動すべきかを指導している。
- 課題研究の発表は生徒の自信につながる。受験にはプラスになっているのか。（回答）分析力や思考力は生きてくると思われる。総合型選抜には活用できる。課題研究の行き詰まりの経験を勉強が行き詰まった時に活かせるよう指導したい。
- 泉北高校の立ち位置を死守してほしい。地域連携、SSH は最大の特長。尖っている生徒を伸ばすことですそ野を広げ、モチベーションを波及させることができると思われる。
- 共通テストの出願者を増やす工夫を検討していただきたい。生徒に安全指向はあると思われるが、さらに上を目指してほしい。
- 指定校推薦の枠の数やどのレベルでどの大学へ行けるのかを知りたい。（回答）校内で基準を設けて公平に選抜を行っており、さまざまなレベルの推薦枠がある。
- 子供から親への連絡が少ないので、英検の申し込みが間に合わないことがあった。強制的に何度も受検させてはどうか。その他の連絡についても本人が言ってくれないことが多く困った。
- 今年度の行事予定を把握しにくかった。学年だよりが減っているように感じた。授業については特化したものを受けている印象があり非常に良い。地域連携に参加している様子を知って、親として誇らしい。取り組みの中で自分の適性を見つけることもできたようで、進路選択にプラスとなった。

4. 事務連絡

- 第3回学校運営協議会の日程について

2月7日（月） 15：45～16：45